

すごろく おにごっこ

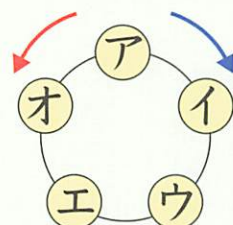


みんなは「すごろく おにごっこ」をしています。 **ルール** を よんで、
もんだいに こたえましょう。

ル
ー
ル

- ① おにを ^{ひとり} 1人 きめます。 おにに なった ^{ひと} 人は
おにの おめんを かぶります。
- ② じゅんばんに さいころを ふって、 ^で 出た ^め 目の
かずだけ、^アから ^{ひだり} すすみます。 その とき、
おには → (左まわり) の ^{みぎ} むきに、 おにでは
ない人は → (右まわり) の むきに すすみます。
- ③ 5より おおく すすむ ときは、 そのまま
^{ふた} 2まわり目に すすみます。
- ④ おにと おなじ ところに とまった 人は
おにに つかまります。

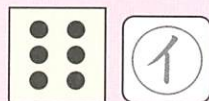
<すすみかた>



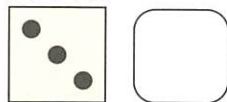
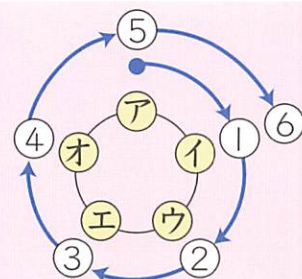
1 さいころを 1つずつ ふりました。

(1) 4人^{にん}で ゲームを しました。 つぎのように さいころの 目が ^で 出ました。 □には
4人が とまった ところの きごうを かきましよう。 また、 おにに つかまった 人の
な^なまえを □に かきましよう。

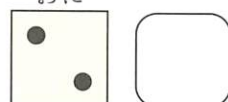
れい



ひかるくんは おにでは ないから
^アから ^イ→^ウ…と
まわるのよ。 6つ すすむと ^イに
とまるわね。



...



おにに
つかまった 人は

(2) ふたり 2人ずつ ゲームを しました。 みんな おにに つかりました。 □に あてはまる
さいころの 目を かきましょう。

①



さやかちゃん

●

●



おに

②



たくみくん

●●

●●



おに

③



ちはるちゃん

●●●

●●●



おに

(3) 7人で ゲームを しました。 おにに つかまった 人が 2人 いました。 □には
あてはまる さいころの 目を、 □には あてはまる 名まえを かきましょう。



まさひくん

●●

●●



やすひくん

●

●



しおりちゃん

●

●



なおきくん

●



あかりちゃん

●●●

●●●



じゅんくん

●●

●●



おに

おにに
つかまった 人は

と

2 おには さいころを 1つ ふり、 出た 目の かずだけ すすみしました。
おにでは ない 人は 2つ ふり、 2つの さいころの 目を あわせた
かずだけ すすみしました。 3人とも すすんだ かずは ちがって
いましたが、 おにに つかりました。 □に あてはまる さいころの
目を かきましょう。



ロイ

3人とも とまった ところは
おなじでも、 すすんだ
かずが ちがっていたよ。



●

と



●●

と



●●●

●●●

と



おに

ピグマはかせの
ワンポイント
アドバイス



2 では、さいころの目の合計として考えられる数をすべて書き出してみましょう。それぞれの
場合で、どこにとまるか調べていきましょう。

レベル
☆☆

すごろく おにごっこ



いろいろな場合を考える問題

解答

1

(1)



おににつかまった人は
えりちゃん

(2)①



②



③



(3)



おににつかまった人は

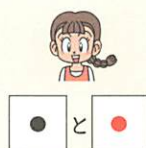
なおきくん

と

あかりちゃん

(順不同)

2



解説

ゲームを題材にした、数の合成を考える問題です。

1

(1) ルールを確認しながら、それぞれのとまった場所を調べていきましょう。

(2) ① さやかちゃんは㊦にとまります。おにが左回りに進んで、㊦にとまるためには、3を出さなければなりません。

② たくみくんは㊦にとまります。

③ ちはるちゃんは㊦にとまります。

(3) みんながとまった場所を考えると、まさひこくんから順に㊦・㊦・㊦・㊦・㊦・㊦となります。

おににつかまった人は2人なので、同じ場所にとまった、なおきくんとあかりちゃんがおににつかまったことがわかります。

2

3人が振ったさいころの合計数が違うことに気をつけて、さいころを2つ振ったときにとまる場所を調べます。いちばん小さい数は $1+1=2$ で2。いちばん大きい数は $6+6=12$ で12。2～12までのとまる場所を調べると、次の<図1>のようになります。

<図1>

2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
㊦	㊦	㊦	㊦	㊦	㊦	㊦	㊦	㊦	㊦	㊦

この中で、3回とまる場所は㊦になります。よって、2つのさいころの目の合計は、2と7と12の3通りです。